

地球科学輻合ゼミナール

(2011年度 後期 第6回)のご案内

大学院で身につける力

山下 哲

京都市立掘川高等学校教諭

山下先生は、平成15年度に本専攻地球物理学分野太陽惑星系電磁気学分科で博士号を取得された本専攻OBです。博士論文のタイトルは

“A Study of Day-Night Net Field-Aligned Currents and Inter-Hemispheric Dynamo Currents Based on Low-Altitude Satellites and Ground Based Observations”

であり、本専攻在学中は低軌道地球観測衛星と地上観測網で捉えられた磁場データを駆使して沿磁力線電流や電離層電流等の超高層大気中電流系の解明に重点を置いた研究をなさっていました。博士号取得後は、京都市立掘川高等学校に奉職され、現在も同校でのSSH(Super Science Highschool)プロジェクトの推進等に貢献し活躍されています。

本講演では、ご自身に経験に基づき、「大学院で何を学ぶべきか」を中心に後輩諸氏の立場に立ったお話をして頂きます。博士前期或いは後期課程修了後の進路についても、有益な助言が得られるものと思います。大学院生の皆さんは、是非ご参加下さい。

11月30日(水) 午後4:30~午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室